

【毎事業年度初めの3ヶ月以内に提出する書類及び書式例】

特定非営利活動法人は、情報公開のため、毎年1回、前事業年度の事業報告書等を所轄庁に提出しなければなりません。所轄庁は、これらの書類（過去3年間に提出を受けたもの）を一般に公開しなければなりません。（法第29条、条例第7条、第8条）

また、特定非営利活動法人は、これらの事業報告書等を、翌々事業年度の末日まで主たる事務所に備え置き、社員その他の利害関係人から閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、閲覧させなければなりません。（法第28条）

提出書類	提出部数
事業報告書等提出書（別記第5号様式の2）	1部
事業報告書	3部
財産目録	3部
貸借対照表	3部
収支計算書	3部
前事業年度の役員名簿（前事業年度において役員であった者の氏名及び住所又は居所並びに各役員についての報酬の有無を記載した名簿）	3部
前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿	3部
記載事項に変更があった定款 （注）前事業年度において定款の記載事項に変更があった場合に限り、提出する。	3部
定款の変更に係る認証に関する書類の写し （注）前事業年度において定款の変更の認証を受けた場合に限り、提出する。	3部
定款の変更に係る登記に関する書類の写し （注）前事業年度において定款の変更により登記事項に変更があった場合に限り、提出する。	3部

※この法では、NPO法人は、自らに関する情報をできるだけ公開することによって市民の信頼を得て、市民によって育てられていくべきという考えがとられています。

事業報告書等は、法人の活動、会計等が、ルールに則って適正に行われていることを、広く一般に公開するためにも必要なものです。

作成にあたっては、書類間の整合性や、前々事業年度の報告書等との整合性について、十分注意してください。

- 例）・「定款」の事業、「事業報告書等」の事業
- ・「財産目録」、「貸借対照表」、「収支計算書」間の正味財産額（収支計算書に正味財産増減の部を設けない場合で、収支差額と正味財産とが一致しない場合は、注記等によって、収支計算書と貸借対照表の関連が明らかになるように記載する。）

.....
 登記事項（資産の総額）の変更を伴う場合は、事業年度終了後2ヶ月以内に、登記が必要です。

手続きについての詳細は、管轄の法務局へお問い合わせください。.....

年 月 日

北海道知事 様

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人
北海道こんぶ研究会
代表者の氏名 四ツ倉 典滋 印
電話番号 011-706-7305

事業報告書等提出書

次に掲げる前事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の財産目録
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の収支計算書
- 5 前事業年度の役員名簿
- 6 前事業年度の社員のうち10人以上の者の氏名(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)及び住所又は居所を記載した書面
- 7 記載事項に変更があった定款
- 8 定款の変更に係る認証に関する書類の写し
- 9 定款の変更に係る登記に関する書類の写し

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

1 事業の成果

今期は、前期から開始したこんぶ種苗管理事業を発展させ、保存した株を活用する事業を中心に展開し、とりわけこんぶ啓蒙事業、およびこんぶ活用研究事業を積極的に行ってきた。

札幌市内での2回におよびフォーラムを開催(北海道中小企業家同友会・産学官連携推進事業助成事業)し、こんぶ漁における歴史的・技術的経緯やこんぶ加工食品のバリエーション等について知識を深めた。また、培養庫にて保存しているこんぶ種苗を活用し、新たな増養殖用基材の研究開発(北海道大学・当会・(株)GEL-Designの共同研究)を行い、さらに、保存株から育成したこんぶ種苗を使って陸上養殖を行う(株)三和建設に対して、陸上養殖支援を行い、夏の高水温期に養殖を継続できる方法を模索した。加えて同社と函館工業技術センター、北海道大学の共同研究によって、陸上養殖されたこんぶの鮮度保持技術を研究開発し(JST・平成21年度地域ニーズ即応型研究開発助成事業)、陸上養殖こんぶの生産を支援した。また、今年度はこんぶ活用先進地である北陸地域(富山県、石川県、福井県)への視察を実施し、その視察報告をベースに、新たな生こんぶ食メニューの開発も行い、フォーラム内での試食会を行うに至っている。これらの活動によって、本会への北海道民の認知、また、こんぶの置かれている環境や諸問題等への北海道民の認知をさらに高める素地を作り上げることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
こんぶ啓蒙事業	北海道中小企業家同友会産学官連携推進事業「北海道こんぶフォーラム」 第4回こんぶフォーラムin札幌	平成21年 9月12日	札幌市	10人	北海道民を対象に40名	400
	第5回こんぶフォーラムin札幌	平成22年 2月28日	札幌市	10人	北海道民を対象に30名	414
こんぶ種苗管理事業	こんぶ種苗採取事業	平成20年 11月17日 ～19日	せたな町内	2人	漁業関係者及び地域環境保全関係者	19
	ホソメコンブ陸上養殖支援事業	平成21年 4月1日～ 平成22年 3月31日	せたな町大成	5人	(株)三和建設を 経由して北海道民を対象に300名	11
こんぶ活用研究事業	北陸地域視察事業	平成21年 10月14日 ～16日	石川県、 富山県、 福井県	6人	レシピ開発を通じて1000人	449
	生こんぶ食レシピ開発事業	平成22年 1月23日	札幌市	6人	レシピ開発を通じて1000人	21
	JST平成21年度地域ニーズ即応型研究開発助成「生食用「お刺身こんぶ」の鮮度保持技術の開発」	平成21年 9月1日～ 平成22年 3月31日	札幌市 函館市 せたな町 愛知県 安城市	3人	(株)三和建設を 経由して全国民を対象	1,071
	計					2,387

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
	こんぶ種苗販売事業				

平成21年度会計財産目録

平成22年 3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	0		
普通預金北洋銀行本店営業部	424,249		
普通預金北海道労働金庫本店営業部	1,051		
通常貯金ゆうちょ銀行	796		
未収金	0		
流動資産合計		426,096	
2 固定資産			
種苗保管庫	812,000		
減価償却	212,986		
固定資産合計		599,014	
資産合計 (A)			1,025,110
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
未収金	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			0
正味財産 (C) = (A) - (B)			1,025,110

平成21年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成22年 3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道こんいし研究会

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金北洋銀行本店営業部	424,249	
普通預金北海道労働金庫本店営業部	1,051	
通常貯金ゆうちょ銀行	796	
流動資産合計		426,096
2 固定資産		
種苗保管庫	812,000	
減価償却	212,986	
固定資産合計		599,014
資産合計 (A)		1,025,110
II 負債の部		
1 流動負債		
なし	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
なし	0	
固定負債合計		0
負債合計 (B)		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,300,819	
当期正味財産増加額 (減少額)	-275,709	
正味財産合計 (C)		1,025,110
負債及び正味財産合計 (B)+(C)=(A)		1,025,110

平成21年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

科 目	金 額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	342,000		
2 事業・助成金収入			
平成21年度産学官連携推進事業	340,000		
平成21年度地域ニーズ即応型研究	1,040,000		
3 寄付金収入	435,670		
4 雑収入・受取利息	273,085		
経常収入合計 (A)			2,430,955
II 経常支出の部			
1 事業費			
こんぶ啓蒙事業費	814,930		
こんぶ種苗管理事業	30,321		
こんぶ活用研究事業	1,542,689		
2 管理費			
消耗品	32,293		
旅費交通費	19,798		
通信費	5,620		
地代家賃1	12,000		
租税公課	3,000		
会議費	32,721		
雑費	306		
経常支出合計 (B)		2,387,940	2,493,678
経常収支差額 (C) = (A) - (B)			-62,723
III その他資金収入の部	なし		
IV その他資金支出の部	なし		
その他資金支出合計 (E)			
当期収支差額 (F)=(C)+(D)-(E)			-62,723
前期繰越収支差額 (G)	488,819	488,819	488,819
次期繰越収支差額 (F) + (G)			426,096

平成21年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

科 目	金 額 (単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	342,000	342,000
2 事業・助成金収入		
平成21年度産学官連携推進事業	340,000	
平成21年度JST地域二一ズ即応型助成	1,040,000	1,380,000
3 寄付金収入	435,670	435,670
4 雑収入 受取利息	273,085	273,085
経常収入合計 (A)		2,430,955
II 経常支出の部		
1 事業費		
こんぶ啓蒙事業費	814,930	
こんぶ種苗管理事業	30,321	
こんぶ活用研究事業	1,542,689	2,387,940
2 管理費		
会議費	32,721	
消耗品費	32,293	
旅費交通費	19,798	
租税公課	3,000	
通信費	5,620	
地代家賃	12,000	
支払手数料	306	105,738
経常支出合計 (B)		2,493,678
経常収支差額 (C) = (A) - (B)		-62,723
III その他資金収入の部		
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計 (E)		
当期収支差額 (F)=(C)+(D)-(E)		-62,723

前期繰越収支差額 (G)	488,819	488,819	488,819
次期繰越収支差額 (F) + (G)			426,096
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(F) (再掲)			
2 負債減少額			
増加額合計(H)			
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額	0		
当期収支差額(F) (再掲) (マイナスの場合)	62,723		
減価償却	212,986		
2 負債増加額	0		
減少額合計(I)		275,709	
当期正味財産増加額 (減少額)			
(H) - (I) = (J)			-275,709
前期繰越正味財産額(K)			1,300,819
当期正味財産合計(J) + (K)			1,025,110